

「だいち 2 号」観測データの強度画像による西之島の地形変化

島のほぼ全域で降灰の影響とみられる反射強度の低い領域が見られます。7 月 31 日から 8 月 14 日にかけて火砕丘の火口の拡大が見られます。8 月 14 日以降、火砕丘の火口に顕著な変化は見られません（図 1、図 2、図 3）。

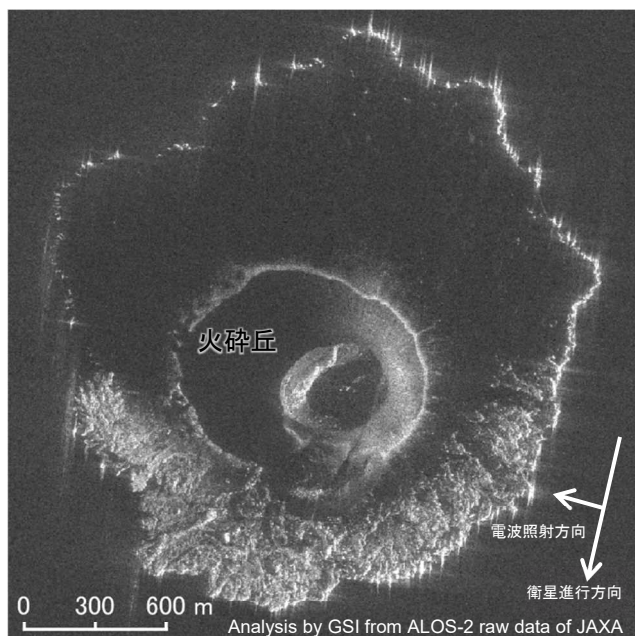


図 1 2020 年 7 月 31 日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

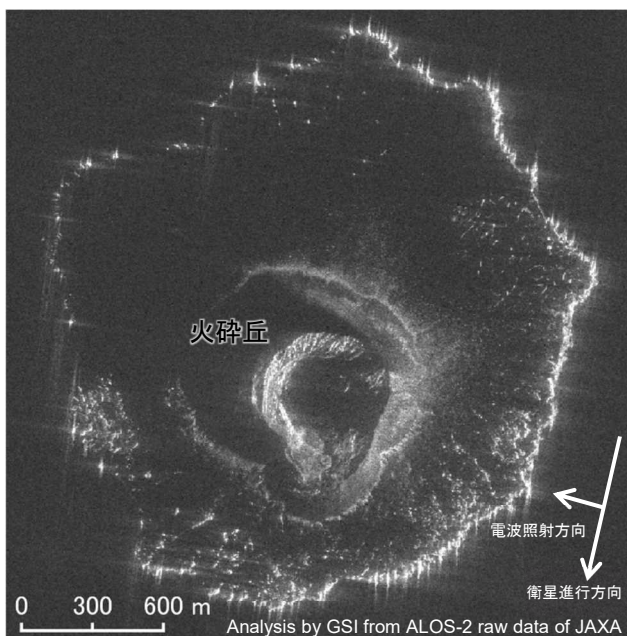


図 2 2020 年 8 月 14 日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

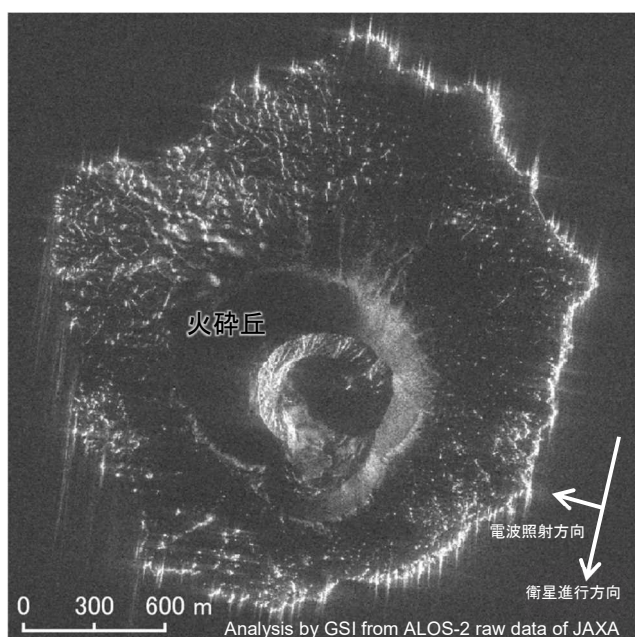


図 3 2020 年 8 月 28 日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

本解析のデータの一部は、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

国土地理院

※反射強度が低い領域では、画像が暗くなります。

「だいち2号」観測データの強度画像による西之島の海岸線変化【暫定】

7月3日以降、海岸線に顕著な変化は見られません（図4）。

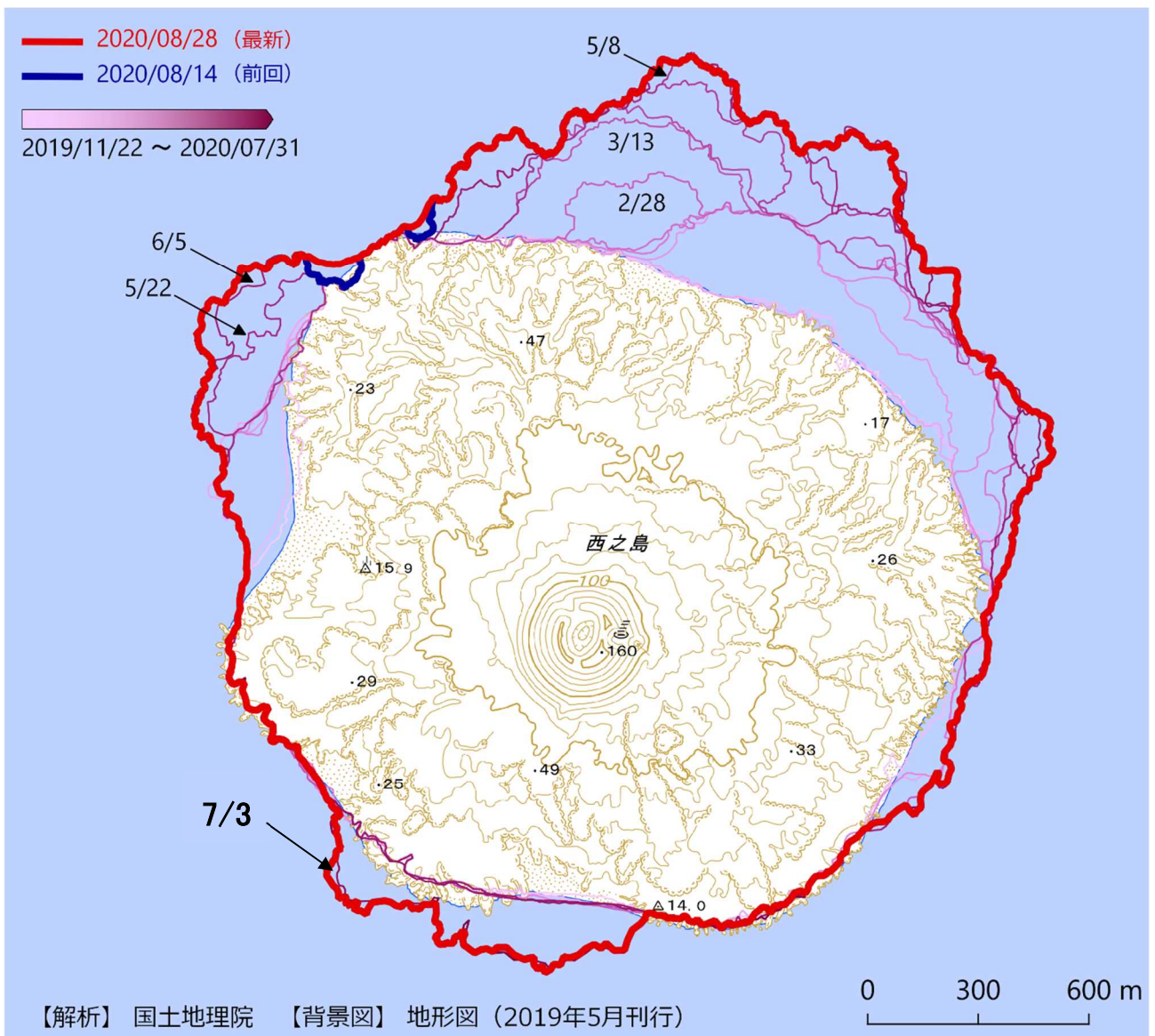


図4 西之島の海岸線変化

※ 結果は速報であり、より詳細な分析等により、今後内容が更新されることがあります。

※ 海岸線の位置は、数十mほどの誤差が含まれる場合があります。